

佳作

人をやさしくするおまじなげ

福岡県 リンデンホールスクール小学部一年 野村 空叶

「ゆっくりだいじょうぶだよ、がんばってね。」
とたくさんのおきやくさんがおうえんしてくれました。

なつやすみにはいったころ、ぼくはスーパーの一日てんちようをつとめました。ぼくのおしごとは、おきやくさんを大きなこえでおむかえとおみおくりをすること、しょうひんをしょうみきげんのじゅんばんにならべること、パイナップルをきること、やさいをうること、レジをうつことでした。たくさんのかんどうがありました。一ばんのかんどうは、レジのおしごとのときでした。ぼくにとっては、はじめてのレジうちです。バーコードどこにあるかわかりません。お金のけいさんもじかんがかかります。だけど、ほかのレジがあいているのに、たくさんのおきやくさんがぼくのレジにならんでくれました

た。こうこうせいのおにいちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまできてくれました。ぼくがきんちようをしていると、

「ゆっくりだいじょうぶだよ。」
とぜんいんのおきやくさんがこえをかけてくれました。ぼくは、みんないそいでいるはずなのにやさしいなどかんじ、うれしかったです。ぼくも大きくなったら、がんばっている人にあんしんできるようなやさしいことばをつたえられるような人になりたいとおもいました。

スーパーの一日てんちようをたいけんして、ほかにもたくさんのまなびがありました。ぼくがはずかしく、小さなこえで「いらっしやいませ」や「ありがとうございます」といってもなかなかつたわりませんでした。大きなこえをだすと、かならずこたえてくれました。ぼくはこれから人にきちんかつたわるあいさつをしようときめました。

これが、ぼくが一日てんちようをとおしてかんじた、かんどうとまなびです。